国際外語・観光・エアライン専門学校

学　科　名	日本語通訳科(2年制)	必須・選択	必須
学　　年	2学年	担当教員	小林
科　目　名	English Strategy TOEIC650突破	時間数	102単位時間
開講期間	通年	授業形態	対面授業/オンライン
使用テキスト名	公式TOEIC　Listening ＆Reaqding プラクティス　リスニング編、リーディング編		
補助教材	公式TOEIC　Listening ＆Reading 6・7		

科目概要と科目到達目標

TOEIC350点から500点の学生を対象に、650点突破を目指す。

授業の進め方・学習方法・課題

リスニングとリーディングを交互に取り混ぜ、単語力強化のため
毎日単語チェックを行う。
また、集中力を持続させ受験できるように授業時間に時間を意識させ
問題を解くように促す。
対面授業と遠隔授業の併用実施

評価方法・成績評価基準

①定期試験50%　②TOEIC公開テストスコア20%　③課題提出物20%　④学習意欲10%

【成績評価基準】
A＝秀（100－90点）　到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた
B＝優（89－80点）　達成目標を十分に達成している
C＝良（79－79点）　到達目標を達成している
D＝可（69－60点）　到達目標を最低限達成している
E=不可（59点以下）　到達目標に達成していない

実務経験教員の経歴

週数	学習内容	学習のねらい
1	リスニング編　Part1 写真描写問題	リスニング力の向上
2	リスニング編　Part2 応答問題	リスニング力の向上
3	リスニング編　Part3 会話問題	リスニング力の向上
4	リスニング編　Part4 説明文問題	リスニング力の向上
5	リーディング編　Part5 短文穴埋め問題	リーディング力の向上
6	リーディング編　Part5 短文穴埋め問題	リーディング力の向上
7	リーディング編　Part6　長文穴埋め問題	リーディング力の向上
8	リーディング編　Part6　長文穴埋め問題	リーディング力の向上
9	リーディング編　Part7　読解問題	リーディング力の向上
10	リーディング編　Part7　読解問題	リーディング力の向上
11	TOEIC模擬テスト	総合的な得点力の向上
12	TOEIC模擬テスト	総合的な得点力の向上
13	評価	まとめテスト
14	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
15	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
16	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
17	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
18	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
19	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
20	TOEIC公開テスト対策	公開テスト対策
21	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
22	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
23	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
24	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
25	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
26	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
27	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
28	TOEIC公開テスト対策	公開テスト対策
29	TOEICテスト公式問題集 7 Test 1	総合的な得点力の向上
30	TOEICテスト公式問題集 7 Test 1	総合的な得点力の向上
31	TOEICテスト公式問題集 7 Test 1	総合的な得点力の向上
32	TOEICテスト公式問題集 7 Test 1	総合的な得点力の向上
33	TOEICテスト公式問題集 7 Test 1	総合的な得点力の向上
34	評価	まとめテスト

国際外語・観光・エアライン専門学校

学　科　名	日本語通訳科(2年制)	必須・選択	必須
学　　年	2学年	担当教員	皆川
科　目　名	English Strategy 英検2級	時間数	102単位時間
開講期間	通年	授業形態	対面授業/オンライン
使用テキスト名	2023年度版　英検2級過去問題集　出る順で最短合格単熟語EX		
補助教材	英検2級総合対策		

科目概要と科目到達目標

読む、書く、聞く、話すの4技能を習得し2級取得を目指す

授業の進め方・学習方法・課題

レベルに合わせたクラス分けにより、語彙、センテンス、リーディングから読解法をマスターさせる

リスニング対策

対面授業と遠隔授業の併用実施

評価方法・成績評価基準

①英検合格50%　②　定期テスト20%　③　課題提出率20%　⑤　授業態度10%

【成績評価基準】

A＝秀（100－90点）　　到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた

B＝優（89－80点）　　達成目標を十分に達成している

C＝良（79－79点）　　到達目標を達成している

D＝可（69－60点）　　到達目標を最低限達成している

E=不可（59点以下）　　到達目標に達成していない

実務経験教員の経歴

週数	学習内容	学習のねらい
1	英検2級総合対策P3～13 出る順で最短合格単熟語EX P3～13	10月受験対策
2	出る順で最短合格単熟語EX P14～24 リスニング30問	10月受験対策
3	英検2級過去問題集2015年第1回　解答解説	10月受験対策
4	英検2級総合対策P14～24　2級過去問題2019長文解答	10月受験対策
5	2級過去問題集2019年第2回　解答解説　リスニング30問	10月受験対策
6	単熟語テスト100問　長文和訳テスト　リスニング暗唱テスト	10月受験対策
7	英検2級対策P25～35　2級過去問題2019年第2回長文解説	10月受験対策
8	短文暗唱テスト8文　単熟語テスト100問	10月受験対策
9	英検2級対策P36～46　2級過去問題集2019年第3回解答	10月受験対策
10	短文暗唱テスト出る順で最短合格単熟語EX P25～35解答	10月受験対策
11	単熟語テスト100問　長文和訳テスト　暗唱テスト	10月受験対策
12	英検2級総合対策P47～57　2級過去問題集	10月受験対策
13	短文暗唱テスト8文　出る順で最短合格単熟語EX P36～46	10月受験対策
14	英検2級総合対策P58～68　2級過去問題集2019年第2回	10月受験対策
15	英検2級総合対策P69～79　2級過去問題集	10月受験対策
16	短文暗唱テスト　出る順で最短合格単熟語EX P47～57解説	10月受験対策
17	単熟語テスト100問　長文和訳テスト　　暗唱テスト	10月受験対策
18	英検2級総合対策P80～90解答解説 リスニング30問	10月受験対策
19	英検2級総合対策P91～101 解答解説　リスニング30問	10月受験対策
20	TOEIC公開テスト対策	10月受験対策
21	短文暗唱テスト8文　出る順で最短合格単熟語EX P58～68	10月受験対策
22	単熟語テスト100問　長文和訳テスト　リスニングテスト	1月受験対策
23	英検2級総合対策P102～112	1月受験対策
24	英検2級総合対策P113～123 解答解説2級過去問題単語テスト	1月受験対策
25	単熟語テスト100問　長文和訳テスト　リスニング　暗唱テスト	1月受験対策
26	短文暗唱テスト8文　出る順で最短合格単熟語EX P69～79	1月受験対策
27	英検2級総合対策P124～134 解答解説	1月受験対策
28	単熟語テスト100問　長文和訳テスト　リスニング短文暗唱テスト	1月受験対策
29	英検2級総合対策P135～145解答解説	1月受験対策
30	短文暗唱テスト8文　出る順で最短合格単熟語EX P80～90	1月受験対策
31	英検2級対策P146～156解答解説 2級過去問題単語テスト	1月受験対策
32	短文暗唱テスト8文　出る順で最短合格単熟語EX P91～101	1月受験対策
33	単熟語テスト100問　長文和訳テスト　リスニング短文暗唱テスト	1月受験対策
34	短文暗唱テスト8文　出る順で最短合格単熟語EX P102～112	1月受験対策

国際外語・観光・エアライン専門学校

学　科　名	日本語通訳科(2年制)	必須・選択	必須
学　　年	2学年	担当教員	高橋
科　目　名	English Strategy 英検準2級	時間数	102単位時間
開講期間	通年	授業形態	対面授業/オンライン
使用テキスト名	2023年度版　英検準2級過去問題集　英検準2級英単語1550		
補助教材	英検準2級総合対策		

科目概要と科目到達目標

読む、書く、聞く、話すの4技能を習得し準2級取得を目指す

授業の進め方・学習方法・課題

レベルに合わせたクラス分けにより、語彙、センテンス、リーディングから読解法をマスターさせる

リスニング対策を定期的に行う

対面授業と遠隔授業の併用実施

評価方法・成績評価基準

①英検合格50%　②　定期テスト20%　③　課題提出率20%　⑤　授業態度10%

【成績評価基準】

A＝秀（100－90点）　　到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた

B＝優（89－80点）　　達成目標を十分に達成している

C＝良（79－79点）　　到達目標を達成している

D＝可（69－60点）　　到達目標を最低限達成している

E=不可（59点以下）　　到達目標に達成していない

実務経験教員の経歴

週数	学習内容	学習のねらい
1	英検準2級総合対策P2～13 英検準2級英単語1550EX P3～13	10月受験対策
2	英検準2級英単語1550　P14～24 リスニング30問	10月受験対策
3	英検準2級過去問題集2019年第1回　解答解説	10月受験対策
4	英検準2級総合対策P14～24　2級過去問題2017長文解答	10月受験対策
5	準2級過去問題集2019年第2回　解答解説　リスニング30問	10月受験対策
6	長文和訳テスト　リスニング暗唱テスト	10月受験対策
7	英検準2級対策P25～35　準2級過去問題2019年第2回長文解説	10月受験対策
8	短文暗唱テスト8文　単熟語テスト100問	10月受験対策
9	英検準2級対策P36～46　準2級過去問題集2020年第1回解答	10月受験対策
10	短文暗唱テスト英検準2級英単語1550 P25～35解答	10月受験対策
11	単熟語テスト100問　長文和訳テスト　暗唱テスト	10月受験対策
12	英検準2級対策P47～57　準2級過去問題集	10月受験対策
13	短文暗唱テスト8文　英検準2級英単語1550 P36～46	10月受験対策
14	英検準2級総合対策P58～68　2級過去問題集2020年第1回	10月受験対策
15	英検準2級総合対策P69～79　準2級過去問題集2020年第1回解説	10月受験対策
16	短文暗唱テスト　英検準2級英単語1550 P47～57解説	10月受験対策
17	単熟語テスト100問　長文和訳テスト　　暗唱テスト	10月受験対策
18	単熟語テスト100問　長文和訳テスト　　暗唱テスト	10月受験対策
19	英検準2級総合対策P91～101 解答解説　リスニング30問	10月受験対策
20	TOEIC公開テスト対策	10月受験対策
21	短文暗唱テスト8文　英検準2級英単語1550　P58～68	10月受験対策
22	単熟語テスト100問　長文和訳テスト　リスニングテスト	1月受験対策
23	英検準2級総合対策P102～112	1月受験対策
24	英検準2級総合対策P113～123 解答解説準2級過去問題単語テス	1月受験対策
25	単熟語テスト100問　長文和訳テスト　リスニング　暗唱テスト	1月受験対策
26	短文暗唱テスト8文　英検準2級英単語1550 P69～79	1月受験対策
27	英検準2級総合対策P124～134 解答解説	1月受験対策
28	単熟語テスト100問　長文和訳テスト　リスニング短文暗唱テスト	1月受験対策
29	英検準2級総合対策P135～145解答解説	1月受験対策
30	短文暗唱テスト8文　英検準2級英単語1550 P80～90	1月受験対策
31	英検準2級対策P146～156解答解説 準2級過去問題単語テスト	1月受験対策
32	短文暗唱テスト8文　英検準2級英単語1550 P91～101	1月受験対策
33	単熟語テスト100問　長文和訳テスト　リスニング短文暗唱テスト	1月受験対策
34	単熟語テスト100問　長文和訳テスト	1月受験対策

国際外語・観光・エアライン専門学校

学　科　名	日本語通訳科	必須・選択	必須
学　　年	2学年	担当教員	マークパーマー
科　目　名	SpeakingⅡ	時間数	51時間
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業
使用テキスト名	TOPIC TALK SECOND EDITION – DAVID MARTIN		
補助教材	POWERPOINT SLIDE		

科目概要と科目到達目標

科目概要：サービス業で使う英語表現を学び、反復練習することでサービスで使用する英語力を身に付ける

科目到達目標：観光業で活かせる実践的な英語スキルを身に付けると同時に、観光英検対策として単語や表現を記憶する。

授業の進め方・学習方法・課題

外資系ホテルや国内の観光業で必要となる英語表現を学び、ListeningやSpeaking活動、ペアワークやグループワークを通して体得する。

評価方法・成績評価基準

出席30%、課題30%、テスト40%

【成績評価基準】

A＝秀（100－90点）　到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた

B＝優（89－80点）　達成目標を十分に達成している

C＝良（79－70点）　到達目標を達成している

D＝可（69－60点）　到達目標を最低限達成している

E=不可（59点以下）　到達目標に達成していない

実務経験教員の経歴

週数	学習内容	学習のねらい
1	FAMILY	TALK ABOUT FAMILY
2	FOOD	TALK ABOUT FOOD
3	TIME	TALK ABOUT TIME
4	HOUSE&HOME	TALK ABOUT HOUSE&HOME
5	MUSIC	TALK ABOUT MUSIC
6	TRANSPORTATION	TALK ABOUT TRANSPORTATION
7	SPORTS	TALK ABOUT SPORTS
8	NUMBERS	TALK ABOUT NUMBERS
9	BEST FRIENDS	TALK ABOUT BEST FRIENDS
10	TV	TALK ABOUT TV
11	WORK	TALK ABOUT WORK
12	VACATION	TALK ABOUT VACATION
13	SCHOOL	TALK ABOUT SCHOOL
14	MOVIES	TALK ABOUT MOVIES
15	Assessment	
16	Assessment	
17	MONEY	TALK ABOUT MONEY
18	RESTAURANTS	TALK ABOUT RESTAURANTS
19	ANIMALS	TALK ABOUT ANIMALS
20	SHOPPING	TALK ABOUT SHOPPING
21	HEALTH&FITNESS	TALK ABOUT HEALTH&FITNESS
22	FASHION	TALK ABOUT FASHION
23	TRAVEL	TALK ABOUT TRAVEL
24	BOOKS, MAGAZINES&NEWSPAPERS	TALK ABOUT BOOKS, MAGAZINES&NEWSPAPERS
25	SICKNESS	TALK ABOUT SICKNESS
26	HOLIDAYS	TALK ABOUT HOLIDAYS
27	FEARS	TALK ABOUT FEARS
28	DATING	TALK ABOUT DATING
29	MARRIAGE	TALK ABOUT MARRIAGE
30	BELIEFS	TALK ABOUT BELIEFS
31	CRIME	TALK ABOUT CRIME
32	OPINIONS	TALK ABOUT OPINIONS
33	Assessment	
34	Assessment	

国際外語・観光・エアライン専門学校

学　科　名	日本語通訳科(2年制)	必須・選択	必須
学　　年	2年	担当教員	
科　目　名	日本語検定対策Ⅱ	時間数	119単位時間
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業
使用テキスト名	とりあえず日本語能力試験対策　N1文字・語彙/N1文法/N1　聴解		
補助教材	BJTビジネス日本語能力テスト聴解・聴読解　　パワーポイント　スライド		

科目概要と科目到達目標

日本語能力試験　N1合格

BJTビジネス日本語能力テスト 480点以上取得

授業の進め方・学習方法・課題

教科書に従って問題を解いていく。

文字語彙は週に1回単語テストを行い、確認する。

対面授業と遠隔授業の併用実施

評価方法・成績評価基準

①定期試験 30 %　②授業への積極的参加(出席率)　40%　③提出物　20%　④学習意欲　10%

【成績評価基準】

A＝秀（100－90点）　到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた

B＝優（89－80点）　達成目標を十分に達成している

C＝良（79－70点）　到達目標を達成している

D＝可（69－60点）　到達目標を最低限達成している

E=不可（59点以下）　到達目標に達成していない

実務経験教員の経歴

週数	学習内容	学習のねらい
1	文字語彙　第1回目　　文法　第1回目	文法の基礎の復習・強化
2	文字語彙　第2回目　　文法　第2回目	文法の基礎の復習・強化
3	文字語彙　第3回目　　文法　第3回目	文法の基礎の復習・強化
4	文字語彙　第4回目　　文法　第4回目	文法の基礎の復習・強化
5	文字語彙　第5回目　　文法　第5回目	文法の基礎の復習・強化
6	文字語彙　第6回目　　文法　第6回目	読解の基礎の復習・強化
7	文字語彙　第7回目　　文法　第7回目	読解の基礎の復習・強化
8	文字語彙　第8回目　　文法　第8回目	読解の基礎の復習・強化
9	文字語彙　第9回目　　文法　第9回目	読解の基礎の復習・強化
10	文字語彙　第10回目　　文法　第10回目	聴解の基礎の復習・強化
11	聴解　第1・2回目	聴解の基礎の復習・強化
12	聴解　第3・4回目	聴解の基礎の復習・強化
13	聴解　第5回目	聴解の基礎の復習・強化
14	模擬テスト①	問題パターンの理解・解法の攻略
15	模擬テスト②	問題パターンの理解・解法の攻略
16	模擬テスト③	問題パターンの理解・解法の攻略
17	テスト	
18	模擬テスト④	問題パターンの理解・解法の攻略
19	模擬テスト⑤	問題パターンの理解・解法の攻略
20	模擬テスト⑥	問題パターンの理解・解法の攻略
21	セクション1：場面把握問題　問題分析	ビジネス日本語のコミュニケーション・スキルの向上
22	セクション1：場面把握問題　問題	ビジネス日本語のコミュニケーション・スキルの向上
23	セクション2：場面把握問題　問題分析	ビジネス日本語のコミュニケーション・スキルの向上
24	セクション2：場面把握問題　問題	ビジネス日本語のコミュニケーション・スキルの向上
25	セクション3：場面把握問題　問題分析	ビジネス日本語のコミュニケーション・スキルの向上
26	セクション3：場面把握問題　問題	ビジネス日本語のコミュニケーション・スキルの向上
27	第2部　聴読解テスト　問題分析と問題	ビジネス日本語のコミュニケーション・スキルの向上
28	セクション1：場面把握問題　問題分析	ビジネス日本語のコミュニケーション・スキルの向上
29	セクション1：場面把握問題　問題	ビジネス日本語のコミュニケーション・スキルの向上
30	セクション2：場面把握問題　問題分析	ビジネス日本語のコミュニケーション・スキルの向上
31	セクション2：場面把握問題　問題	ビジネス日本語のコミュニケーション・スキルの向上
32	セクション3：場面把握問題　問題分析	ビジネス日本語のコミュニケーション・スキルの向上
33	セクション3：場面把握問題　問題	ビジネス日本語のコミュニケーション・スキルの向上
34	テスト	

国際外語・観光・エアライン専門学校

学　科　名	日本語通訳科(2年制)	必須・選択	必須
学　　年	2年	担当教員	今泉香澄
科　目　名	ビジネス日本語Ⅱ（待遇表現）	時間数	34単位時間
開講期間	通年	授業形態	オンライン授業
使用テキスト名	Shadowing日本語を話そう！就職・アルバイト・面接編		
補助教材	パワーポイント		

科目概要と科目到達目標

アルバイト探し・専門学校/大学入学試験・就職活動における面接に合格する
就職面接の際に面接官が聞きやすく、理解しやすく話せるようにする

授業の進め方・学習方法・課題

シャドーイングで「聞きながら復唱する」
質問に対する答えを自分で考える→担当教員が内容確認・訂正をする
模擬面接を行う→よかった点、よくなかった点をクラスで共有する

評価方法・成績評価基準

①定期試験 30 %　②授業への積極的参加(出席率)　40%　③提出物　20%　④学習意欲　10%

【成績評価基準】
A＝秀（100－90点）　到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた
B＝優（89－80点）　達成目標を十分に達成している
C＝良（79－79点）　到達目標を達成している
D＝可（69－60点）　到達目標を最低限達成している
E=不可（59点以下）　到達目標に達成していない

実務経験教員の経歴

週数	学習内容	学習のねらい
1	面接のマナー	面接時の服装を覚える
2	Unit1　アルバイトの面接	アルバイト面接での表現を身につける
3	1-1　スモールトーク	本題に入る前の表現を身につける
4	1-2　電話アポイントメント	電話の表現を身につける
5	1-3　アルバイト面接	面接での表現を身につける
6	1-4　通し練習	面接での表現を身につける
7	My Page	自分の言葉で伝えることができる
8	Unit2　大学・専門学校入試の面接	入試での面接表現を身につける
9	2-1　大学・専門学校入試の面接①	質問に合った返答を導きだせるようになる
10	2-1　大学・専門学校入試の面接②	質問に合った返答を導きだせるようになる
11	2-2　通し練習	面接での表現を身につける
12	2-2　通し練習	面接での表現を身につける
13	My Page	自分の言葉で伝えることができる
14	Unit3　就職面接	就職面接の表現を身につける
15	3-1　グループ面接	グループ面接でのアピールの仕方を身につける
16	3-1　グループ面接	グループ面接でのアピールの仕方を身につける
17	3-1　グループディスカッション	自分の意見を持ち、人に伝える
18	3-1　グループディスカッション	自分の意見を持ち、人に伝える
19	3-2　個人面接①自己PR	自己PRできるようになる
20	長所・短所に関する質問	長所と短所を人に伝える
21	大学・学業（専門・ゼミ・卒論）に関する質問	学業に関する質問に答えられる
22	学業以外に関する質問	学業以外に関する質問に答えられる
23	将来に関する質問	将来について答えられる
24	技術・能力に関する質問	技術・能力についてアピールできる
25	外国人に向けての質問	自分の価値観を伝えられる
26	個人の資質に関する質問	資質に関して答えられる
27	1分間自己PR	自己PRができるようになる
28	3-3 個人面接②志望動機	志望動機について書けるようになる
29	志望動機に関する質問	志望動機を伝えられるようになる
30	業界・企業に関する質問	業界・企業への質問ができる
31	3-4　個人面接③通し練習	自信を持ってできるようになる
32	My Page	自分の言葉で伝えることができる
33	この課の表現・言葉　フレーズ集	面接の表現やフレーズを覚える
34	テスト	

国際外語・観光・エアライン専門学校

学　科　名	日本語通訳科(2年制)	必須・選択	必須
学　　年	2年	担当教員	丹田
科　目　名	ビジネス日本語Ⅱ（待遇演習）	時間数	68単位時間
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業
使用テキスト名	外国人のためのケーススタディで学ぶビジネス日本語　中級		
補助教材	パワーポイント　スライド		

科目概要と科目到達目標

ビジネス場面における実践的なコミュニケーション能力を高める

授業の進め方・学習方法・課題

課のテーマに関する文章を読み、新入社員が出会う具体的なケースを想定して自分の意見をまとめる。
課のテーマの使用する表現について理解し、会話表現を滑らかに言えるまで練習する
ロールカードに提示されている状況を見て、「会話の流れ」に沿った会話を組み立てる。
「会話表現」で学んだ表現を適切に使って会話をする。相手のカードは見ないで、自分の役割のカードだけ
見て、状況に合った会話を臨機応変に組み立てる。自分の意見をまとめて、周囲の人と話し合う。

評価方法・成績評価基準

①定期試験 30 %　②授業への積極的参加(出席率)　40%　③提出物　20%　④学習意欲　10%

【成績評価基準】
A＝秀（100－90点）　到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた
B＝優（89－80点）　達成目標を十分に達成している
C＝良（79－70点）　到達目標を達成している
D＝可（69－60点）　到達目標を最低限達成している
E=不可（59点以下）　到達目標に達成していない

実務経験教員の経歴

週数	学習内容	学習のねらい
1	第1課　依頼をする	依頼の表現を覚える
2	第1課　依頼を受ける	依頼の表現を覚える
3	第1課　依頼を断る	依頼の表現を覚える
4	ロールプレイ	依頼の表現を使う
5	第2課　アポイントメントの申し入れ①	アポイントの取り方について理解する
6	第2課　アポイントメントの申し入れ②	アポイントの取り方について理解する
7	第2課　アポイントメントの確認	アポイントの確認の仕方について理解する
8	ロールプレイ	アポイントの表現を使う
9	第3課　謝罪をする	謝る時の表現を覚える
10	第3課　謝罪をする+今後どうするか伝える	謝る時の表現を覚える
11	第3課　謝罪を受ける	謝る時の表現を覚える
12	ロールプレイ	謝る時の表現を使う
13	第4課　感謝する①	感謝する時の表現を覚える
14	第4課　感謝する②	感謝する時の表現を覚える
15	第4課　感謝を受ける	感謝する時の表現を覚える
16	ロールプレイ①	感謝する時の表現を使う
17	テスト	
18	ロールプレイ②	感謝する時の表現を使う
19	第5課　自己紹介	初対面の人と会った時の自己紹介の表現を覚える
20	第5課　他社紹介	他者を紹介する時の表現を覚える
21	第5課　雑談	雑談をする時の表現を使う
22	ロールプレイ①	紹介する時の表現を使う
23	ロールプレイ②	雑談する時の表現を使う
24	第6課　社内での日常の挨拶	挨拶の表現を覚える
25	第6課　社外の人との挨拶	挨拶の表現を覚える
26	第6課　異動の場面での挨拶	挨拶の表現を覚える
27	ロールプレイ①	挨拶の表現を使う
28	ロールプレイ②	挨拶の表現を使う
29	第7課　誘う	誰かを誘う時の表現を覚える
30	第7課　誘いを受ける	誘いを受ける時の表現を覚える
31	第7課　誘いを断る	誘いを断る時の表現を覚える
32	ロールプレイ①	誘う時の表現を使う
33	ロールプレイ②	誘いを受ける、断る時の表現を使う
34	テスト	

国際外語・観光・エアライン専門学校

学　科　名	日本語通訳科(2年制)	必須・選択	必須
学　　年	2年	担当教員	丹田充
科　目　名	日本語文章表現Ⅱ	時間数	85単位時間
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業
使用テキスト名	①留学生のための漢字の教科書中級700②中級日本語で挑戦！スピーチ＆ディスカッション		
補助教材	パワーポイント　③初級から中級までSTEP式にほんご練習帳授受表現		

科目概要と科目到達目標

文字語彙Aランク　40/60点取得

スピーチコンテスト等で賞を取得できるようになる

授受表現を理解し、N3合格を目指す

聴解力、読解力、要約力を伸ばす

作文の書き方を覚え、口頭表現を見に付ける

授業の進め方・学習方法・課題

筆順を正しく書く

毎週課ごとに「よみましょう」「かきましょう」を宿題にし、提出する。

採点→返却→間違った箇所は訂正し、10回書き提出する。

③補助教材を使って、授受表現の説明→例の提示→練習問題

テーマについて作文を書く→教員が添削する→清書をする→スピーチをする

評価方法・成績評価基準

①定期試験 30 %　②授業への積極的参加(出席率) 40%　③提出物　20%　④学習意欲　10%

【成績評価基準】

A＝秀（100－90点）　到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた

B＝優（89－80点）　達成目標を十分に達成している

C＝良（79－70点）　到達目標を達成している

D＝可（69－60点）　到達目標を最低限達成している

E=不可（59点以下）　到達目標に達成していない

実務経験教員の経歴

週数	学習内容	学習のねらい
1	①18課　空港	中級漢字読み書きの習得
2	①19課　テレビ・映画	中級漢字読み書きの習得
3	①20課　注意書き	中級漢字読み書きの習得
4	①21課　ガイダンス	中級漢字読み書きの習得
5	①22課　旅行	中級漢字読み書きの習得
6	①23課　発表	中級漢字読み書きの習得
7	①24課　論文	中級漢字読み書きの習得
8	①25課　健康	中級漢字読み書きの習得
9	①26課　地理	中級漢字読み書きの習得
10	①27課　植物	中級漢字読み書きの習得
11	①28課　地球	中級漢字読み書きの習得
12	①29課　いろいろなニュース1	中級漢字読み書きの習得
13	①30課　いろいろなニュース2	中級漢字読み書きの習得
14	①31課　いろいろなニュース3	中級漢字読み書きの習得
15	①32課　いろいろなニュース4	中級漢字読み書きの習得
16	テスト	
17	③STEP1　練習問題　1	授受表現の習得
18	③STEP1　練習問題　2	授受表現の習得
19	③STEP2　練習問題　1	授受表現の習得
20	③STEP2　練習問題　2	授受表現の習得
21	③STEP3　練習問題　1	授受表現の習得
22	③STEP3　練習問題　2	授受表現の習得
23	③STEP4　練習問題　1	授受表現の習得
24	③STEP4　練習問題　2	授受表現の習得
25	テスト	
26	②作文の書き方について	作文の書き方を覚える
27	②UNIT03 スピーチ（1）意見を言おう！	作文の書き方を覚える
28	②UNIT03 スピーチ（1）日本の習慣について不思議に思うこと	作文の書き方を覚える
29	②400字の作文を書く	作文の書き方を覚える
30	スピーチ	口頭表現を効果的に身に付ける
31	②UNIT03 スピーチ（1）スピーチの流れと表現を勉強しよう！	作文の書き方を覚える
32	②UNIT03 スピーチ（1）異文化体験を通して	作文の書き方を覚える
33	800字～1000字の作文を書く	作文の書き方を覚える
34	スピーチ　テスト	口頭表現を効果的に身に付ける

国際外語・観光・エアライン専門学校

学　科　名	日本語通訳科(2年制)	必須・選択	必須
学　　年	2年	担当教員	今泉香澄
科　目　名	時事日本語Ⅱ	時間数	34単位時間
開講期間	通年	授業形態	オンライン授業
使用テキスト名	中級から始めるニュースの日本語　聴解40		
補助教材	パワーポイント　スライド		

科目概要と科目到達目標

JLPT聴解や読解の対策、及び一般常識の習得

授業の進め方・学習方法・課題

実際のニュースを聞き、特有の言い回しや単語を覚える

評価方法・成績評価基準

①定期試験 30 %　②授業への積極的参加(出席率)　40%　③提出物　20%　④学習意欲　10%

【成績評価基準】

A＝秀（100－90点）　到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた

B＝優（89－80点）　達成目標を十分に達成している

C＝良（79－70点）　到達目標を達成している

D＝可（69－60点）　到達目標を最低限達成している

E=不可（59点以下）　到達目標に達成していない

実務経験教員の経歴

週数	学習内容	学習のねらい
1	1,ペンギン、抜け出す	聞き取り、筆記、内容理解
2	2,ビアガーデン	聞き取り、筆記、内容理解
3	3,心を持つ掃除機	聞き取り、筆記、内容理解
4	4,避難訓練	聞き取り、筆記、内容理解
5	5,ビール開発	聞き取り、筆記、内容理解
6	6,お盆の帰省ラッシュ	聞き取り、筆記、内容理解
7	7,眠い日本人	聞き取り、筆記、内容理解
8	8,北海道で激しい雷雨	聞き取り、筆記、内容理解
9	9,ネットにいじめ動画	聞き取り、筆記、内容理解
10	10,ジューンブライド	聞き取り、筆記、内容理解
11	11,優先席2倍に増設	聞き取り、筆記、内容理解
12	12,日本は安全な国	聞き取り、筆記、内容理解
13	13,駅のホーム事故	聞き取り、筆記、内容理解
14	14,インフラの老朽化	聞き取り、筆記、内容理解
15	15,高校生の留学支援	聞き取り、筆記、内容理解
16	16,コーンホルダー	聞き取り、筆記、内容理解
17	テスト	
18	17,自殺する若者	聞き取り、筆記、内容理解
19	18,スーパー銭湯無銭宿泊	聞き取り、筆記、内容理解
20	19,コンビニの海外店舗数	聞き取り、筆記、内容理解
21	20,熱中症に注意	聞き取り、筆記、内容理解
22	21,電気料金値上げ	聞き取り、筆記、内容理解
23	22,電子書籍、マンガ	聞き取り、筆記、内容理解
24	23,防犯カメラで逮捕	聞き取り、筆記、内容理解
25	24,独身男性6割以上	聞き取り、筆記、内容理解
26	25,レバ刺し禁止へ	聞き取り、筆記、内容理解
27	26,銅像19体に赤い服	聞き取り、筆記、内容理解
28	27,企業による出張授業	聞き取り、筆記、内容理解
29	28,高層マンション	聞き取り、筆記、内容理解
30	29,飼い犬に税金	聞き取り、筆記、内容理解
31	30,変わった味のソフトクリーム	聞き取り、筆記、内容理解
32	31,東京都の帰宅困難者	聞き取り、筆記、内容理解
33	32,福岡市職員に禁酒例	聞き取り、筆記、内容理解
34	テスト	

国際外語・観光・エアライン専門学校

学　科　名	日本語通訳科(2年制)	必須・選択	必須
学　　年	2年	担当教員	今泉香澄
科　目　名	日本事情Ⅱ	時間数	34単位時間
開講期間	通年	授業形態	オンライン授業
使用テキスト名	マンガで体験！にっぽんのカイシャ～ビジネス日本語を実践する～		
補助教材	パワーポイント　スライド		

科目概要と科目到達目標

ビジネス日本語能力、日本のビジネスの現場の中で実際に行われている様々なコミュニケーションを理解し、
自らも適切に表現し、周りの人と十分に意思疎通することができる能力を養う。
日本の企業で働くイメージをつけ、どのような能力が必要なのかを自分で考え、問題解決能力を養う。

授業の進め方・学習方法・課題

悪い例のマンガを読み、問題について考える。
自分ならどうするか、意見をまとめ、グループワークをする。
就職したい職種・企業を調べ、発表する。

評価方法・成績評価基準

①定期試験 30%　②授業への積極的参加(出席率)30%　③提出物　20%　④学習意欲　20%

【成績評価基準】
A＝秀（100－90点）　到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた
B＝優（89－80点）　達成目標を十分に達成している
C＝良（79－70点）　到達目標を達成している
D＝可（69－60点）　到達目標を最低限達成している
E=不可（59点以下）　到達目標に達成していない

実務経験教員の経歴

週数	学習内容	学習のねらい
1	お辞儀とあいさつ	日本でのビジネスマナーを身に付ける
2	1 そこまで正直でなくても･･･。	日本でのビジネスマナーを身に付ける
3	2 ほうれんそうの前に確認を！	日本でのビジネスマナーを身に付ける
4	3 待つ身になってみないとね･･･。	日本でのビジネスマナーを身に付ける
5	4 書き出しが肝心なのです、	日本でのビジネスマナーを身に付ける
6	5 何を聴きたいのかを、最初にね。	日本でのビジネスマナーを身に付ける
7	6 その呼び方、ちょっと待った！	日本でのビジネスマナーを身に付ける
8	7 電話はメモする習慣をつけて！	日本でのビジネスマナーを身に付ける
9	8 4時と14時は大違い。	日本でのビジネスマナーを身に付ける
10	9 だから、順番は大切なんですって！	日本でのビジネスマナーを身に付ける
11	10 有給休暇！心奪われる響きだけれど。	日本でのビジネスマナーを身に付ける
12	日本語は難しい！？言葉の大切さ	日本でのビジネスマナーを身に付ける
13	11 あれ？みんな、まだ帰らないの？	日本でのビジネスマナーを身に付ける
14	12 スケジュール管理はしっかりと。	日本でのビジネスマナーを身に付ける
15	13 そこはちょっと思い切って！	日本でのビジネスマナーを身に付ける
16	14 大事なのは日時とテーマ。	日本でのビジネスマナーを身に付ける
17	15 最初の一言が肝心！	日本でのビジネスマナーを身に付ける
18	16 いくら地図が苦手でも･･･。	日本でのビジネスマナーを身に付ける
19	17 何を話せばいいのかな？	日本でのビジネスマナーを身に付ける
20	18 ほうれんそうは社外にも。	日本でのビジネスマナーを身に付ける
21	19 名刺はきちんと整理しておかないと･･･。	日本でのビジネスマナーを身に付ける
22	20 仕事のメールは顔文字？？	日本でのビジネスマナーを身に付ける
23	初心、忘るべからず！	日本でのビジネスマナーを身に付ける
24	21 相手の名前は重要だから。	日本でのビジネスマナーを身に付ける
25	22 急いでいる人もいるからね。	日本でのビジネスマナーを身に付ける
26	23 聞く耳を持つことも大切。	日本でのビジネスマナーを身に付ける
27	24 質問するのは、恥ずかしいことじゃない。	日本でのビジネスマナーを身に付ける
28	25 いくら後輩だからって･･･。	日本でのビジネスマナーを身に付ける
29	26「できません」というその前に。	日本でのビジネスマナーを身に付ける
30	27 準備は怠りなく。	日本でのビジネスマナーを身に付ける
31	28 何はともあれ、相談だ！	日本でのビジネスマナーを身に付ける
32	29「ここは日本だよね？」と思うかもしれないけど	日本でのビジネスマナーを身に付ける
33	30 おいてきぼりは、いけません。	日本でのビジネスマナーを身に付ける
34	テスト	

国際外語・観光・エアライン専門学校

学　科　名	日本語通訳科(2年制)	必須・選択	必須
学　　年	2年	担当教員	前田
科　目　名	日本社会と文化Ⅱ	時間数	68単位時間
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業
使用テキスト名	留学生・日本で働く人のためのビジネスマナーとルール		
補助教材	パワーポイント		

科目概要と科目到達目標

日本社会と文化を覚えるとともに、ビジネスマナーを身につけ、ビジネスシーンに対応できる日本語習得
国によって違うマナーや文化を踏まえて日本のマナーを習得する
ビジネスにおけるコミュニケーションスキルを高める

授業の進め方・学習方法・課題

各課で事例を読み、①自分ならどう思うか、どうするかを考える→②クイズに答える
→③なぜ誤解が生まれたか解説を読み理解する　→　④コラムを読み日本社会の知識を得る
→⑤学んだことをクラスメイトの前で説明する

評価方法・成績評価基準

①定期試験 30 %　②授業への積極的参加(出席率)　40%　③提出物　20%　④学習意欲　10%

【成績評価基準】
A＝秀（100－90点）　到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた
B＝優（89－80点）　達成目標を十分に達成している
C＝良（79－70点）　到達目標を達成している
D＝可（69－60点）　到達目標を最低限達成している
E=不可（59点以下）　到達目標に達成していない

実務経験教員の経歴

週数	学習内容	学習のねらい
1	第1章　ビジネスコミュニケーション	ビジネスコミュニケーションスキルを高める
2	第1節　日本人と働く心構え	ビジネスコミュニケーションスキルを高める
3	第2節　上司・先輩との付き合い方	ビジネスコミュニケーションスキルを高める
4	第3節　同僚との付き合い方	ビジネスコミュニケーションスキルを高める
5	第4節　就業時間外の付き合い	ビジネスコミュニケーションスキルを高める
6	第5節　ウチとソトの関係	ビジネスコミュニケーションスキルを高める
7	第6節　チームワーク	ビジネスコミュニケーションスキルを高める
8	第7節　配慮のある話し方	ビジネスコミュニケーションスキルを高める
9	第8節　話の進め方	ビジネスコミュニケーションスキルを高める
10	第2章ビジネスのルール	ビジネスルールを身につける
11	第1節　時間厳守	ビジネスルールを身につける
12	第2節　就業時間	ビジネスルールを身につける
13	第3節　身だしなみ	ビジネスルールを身につける
14	第4節　あいさつ	ビジネスルールを身につける
15	第5節　お辞儀	ビジネスルールを身につける
16	第6節　報告・連絡・相談	ビジネスルールを身につける
17	第7節　情報管理	ビジネスルールを身につける
18	第8節　ハラスメント	ビジネスルールを身につける
19	第3章　社内のマナー	社内マナーを理解する
20	第1節　話を聞くとき	社内マナーを理解する
21	第2節　指示を受ける時	社内マナーを理解する
22	第3節　注意を受けた時	社内マナーを理解する
23	第4節　退社時のマナー	社内マナーを理解する
24	第5節　葬儀のマナー	社内マナーを理解する
25	第6節　贈答のマナー	社内マナーを理解する
26	第7節　食事のマナー	社内マナーを理解する
27	第8節　お酒の席のマナー	社内マナーを理解する
28	第4章社外のマナー	社外マナーを理解する
29	第1節　名刺の扱い方	社外マナーを理解する
30	第2節　仕事に役立つ雑談	社外マナーを理解する
31	第3節　場所ごとの席次	社外マナーを理解する
32	第4節　案内と見送り	社外マナーを理解する
33	まとめ	
34	テスト	

国際外語・観光・エアライン専門学校

学　科　名	日本語通訳科(2年制)	必須・選択	必須
学　　年	2年	担当教員	中林
科　目　名	異文化理解Ⅱ	時間数	17単位時間
開講期間	前期	授業形態	対面・オンライン授業
使用テキスト名	異文化理解入門（研究社）		
補助教材	パワーポイント		

科目概要と科目到達目標

異文化比較と理解を進め多様性社会への対応力を高める

授業の進め方・学習方法・課題

異文化理解に関する基礎知識紹介後、確認チェック、ワークを行い、レポート課題作成。
対面授業と遠隔授業の併用実施

評価方法・成績評価基準

①定期試験　30%　②授業への積極的参加(出席率)　40%　③提出物　10%　④学習意欲　20%

【成績評価基準】
A＝秀（100－90点）　到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた
B＝優（89－80点）　達成目標を十分に達成している
C＝良（79－70点）　到達目標を達成している
D＝可（69－60点）　到達目標を最低限達成している
E=不可（59点以下）　到達目標に達成していない

実務経験教員の経歴

週数	学習内容	学習のねらい
1	イントロダクション 異文化理解のすすめ	国際的人材の育成、様々な人間関係の向上
2	異文化コミュニケーショ ～文化とは何か･世界における多様化	国際的人材の育成、様々な人間関係の向上
3	異文化コミュニケーション～自文化への気付き･人間的成長の機会	国際的人材の育成、様々な人間関係の向上
4	文化とは～文化の氷山モデル･私の常識、あなたの非常識？	国際的人材の育成、様々な人間関係の向上
5	文化とは～トータルカルチャーとサブカルチャー･文化の特徴	国際的人材の育成、様々な人間関係の向上
6	文化とは～文化的側面に対する個人的側面･普遍的側面	国際的人材の育成、様々な人間関係の向上
7	異文化適応～U字曲線の適応･W字曲線の適応	国際的人材の育成、様々な人間関係の向上
8	異文化適応～らせん型曲線の適応	国際的人材の育成、様々な人間関係の向上
9	シミュレーション～バーンガ･シミュレーションの意義	国際的人材の育成、様々な人間関係の向上
10	違いに気づく～行動･視点	国際的人材の育成、様々な人間関係の向上
11	違いに気づく～環境･発想の転換	国際的人材の育成、様々な人間関係の向上
12	異文化の認識 ～固定概念･ファイリング･ステレオタイプ	国際的人材の育成、様々な人間関係の向上
13	差別を考える①②～差別の種類	国際的人材の育成、様々な人間関係の向上
14	差別を考える③④⑤～差別が生まれる背景	国際的人材の育成、様々な人間関係の向上
15	差別を考える⑥ ～差別との異文化理解	国際的人材の育成、様々な人間関係の向上
16	世界の価値観 ～個人主義VS集団主義	国際的人材の育成、様々な人間関係の向上
17	レポート課題作成	
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		
31		
32		
33		
34		

国際外語・観光・エアライン専門学校

学　科　名	日本語通訳科(2年制)	必須・選択	必須
学　　年	2年	担当教員	丹田充
科　目　名	日本語翻訳Ⅱ	時間数	34単位時間
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業
使用テキスト名	日本語学習者のための読解厳選テーマ10[中上級]		
補助教材	パワーポイント		

科目概要と科目到達目標

日本語能力試験にも出題されるエッセイ、論説文、新聞記事、物語の形式に慣れる
読解60点満点中40点取得
テーマについて考えたり、クラスメートとディスカッションしたりして「文章を読む」「自分の考えをまとめ、話す」「他社の考えを聞く」というプロセスの中で、より広い視野を獲得し、テーマに主体的に考え続けていく力を養う。

授業の進め方・学習方法・課題

①準備　4コマ漫画の内容について日本語で話せるか確認　→　②黙読と答えの記入　（辞書使用可巻末の語彙リスト確認可　）→③音読と答えの確認　→　④読み物1から読み物2へ　→　⑤読み物2を黙読と答えの記入　→　⑥発展　これまで学習したものをもう一度考えたり、話したりする

評価方法・成績評価基準

①定期試験 30 %　②授業への積極的参加(出席率)　40%　③提出物　20%　④学習意欲　10%

【成績評価基準】
A＝秀（100－90点）　到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた
B＝優（89－80点）　達成目標を十分に達成している
C＝良（79－79点）　到達目標を達成している
D＝可（69－60点）　到達目標を最低限達成している
E=不可（59点以下）　到達目標に達成していない

実務経験教員の経歴

週数	学習内容	学習のねらい
1	01　働かない働きアリ？	多様な視点考え方に触れる
2	[読み物1]アリとキリギリス	テーマについて考え、ディスカッションをする
3	[読み物2]働かないアリにも働き	多様な視点考え方に触れる
4	[コラム]イソップ童話	テーマについて考え、ディスカッションをする
5	02　血液型	多様な視点考え方に触れる
6	[読み物1]血液占いは当たる？	テーマについて考え、ディスカッションをする
7	[読み物2]血液型で判断してもよいのか	多様な視点考え方に触れる
8	[コラム]血液型はいくつある？	テーマについて考え、ディスカッションをする
9	03　言葉の意味	多様な視点考え方に触れる
10	[読み物1]私の言葉で辞書を編む	テーマについて考え、ディスカッションをする
11	[読み物2]「情けは人のためならず」の意味	多様な視点考え方に触れる
12	[コラム]変わる言葉の意味	テーマについて考え、ディスカッションをする
13	04　IT社会	多様な視点考え方に触れる
14	[読み物1]両親との約束	テーマについて考え、ディスカッションをする
15	[読み物2]IT断食	多様な視点考え方に触れる
16	[コラム]インターネットは誰の発明？	テーマについて考え、ディスカッションをする
17	テスト	
18	05　喫煙	多様な視点考え方に触れる
19	[読み物1]祖父とキセルの記憶	テーマについて考え、ディスカッションをする
20	[読み物2]喫煙VS禁煙　解決は？	多様な視点考え方に触れる
21	[コラム]喫煙の広がりは漫画・アニメでも？	テーマについて考え、ディスカッションをする
22	06　Kawaii	多様な視点考え方に触れる
23	[読み物1]世界共通語となった「カワイイ」	テーマについて考え、ディスカッションをする
24	[読み物2]ミッキーマウス vs. キティ	多様な視点考え方に触れる
25	[コラム]「かわいい」は赤ちゃんの戦略	テーマについて考え、ディスカッションをする
26	07　若者	多様な視点考え方に触れる
27	[読み物1]若者のクルマばなれ	テーマについて考え、ディスカッションをする
28	[読み物2]ギャルの力	多様な視点考え方に触れる
29	[コラム]〇〇世代	テーマについて考え、ディスカッションをする
30	08　いじめ	多様な視点考え方に触れる
31	[読み物1]いじめられている君へ	テーマについて考え、ディスカッションをする
32	[読み物2]なぜクラス全員が加害者になるのか	多様な視点考え方に触れる
33	[コラム]いじめ防止対策推進法	テーマについて考え、ディスカッションをする
34	テスト	

国際外語・観光・エアライン専門学校

学　科　名	日本語通訳科(2年制)	必須・選択	必須
学　　年	2年	担当教員	今泉香澄
科　目　名	日本語通訳Ⅱ	時間数	34単位時間
開講期間	通年	授業形態	オンライン授業
使用テキスト名	Shadowing日本語を話そう！就職・アルバイト・面接編		
補助教材	パワーポイント		

科目概要と科目到達目標

日本語の発音をネイティブと同じようになるように意識的に繰り返し練習する
就職面接の際に面接官が聞きやすく、理解しやすく話せるようにする

授業の進め方・学習方法・課題

シャドーイングで「聞きながら復唱する」
①教科書を見ながら音声に合わせてシャドーイング→②教科書を見ず、音声に合わせてシャドーイング
③一人ずつ発音する→担当教員が内容確認・訂正をする、発音の訂正をする

評価方法・成績評価基準

①定期試験 30 %　②授業への積極的参加(出席率)　40%　③提出物　20%　④学習意欲　10%

【成績評価基準】
A＝秀（100－90点）　到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた
B＝優（89－80点）　達成目標を十分に達成している
C＝良（79－79点）　到達目標を達成している
D＝可（69－60点）　到達目標を最低限達成している
E=不可（59点以下）　到達目標に達成していない

実務経験教員の経歴

週数	学習内容	学習のねらい
1	面接のマナー	面接時の服装を覚える
2	Unit1　アルバイトの面接	アルバイト面接での表現を身につける
3	1-1　スモールトーク	本題に入る前の表現を身につける
4	1-2　電話アポイントメント	電話の表現を身につける
5	1-3　アルバイト面接	面接での表現を身につける
6	1-4　通し練習	面接での表現を身につける
7	My Page	自分の言葉で伝えることができる
8	Unit2　大学・専門学校入試の面接	入試での面接表現を身につける
9	2-1　大学・専門学校入試の面接①	質問に合った返答を導きだせるようになる
10	2-1　大学・専門学校入試の面接②	質問に合った返答を導きだせるようになる
11	2-2　通し練習	面接での表現を身につける
12	2-2　通し練習	面接での表現を身につける
13	My Page	自分の言葉で伝えることができる
14	Unit3　就職面接	就職面接の表現を身につける
15	3-1　グループ面接	グループ面接でのアピールの仕方を身につける
16	3-1　グループ面接	グループ面接でのアピールの仕方を身につける
17	3-1　グループディスカッション	自分の意見を持ち、人に伝える
18	3-1　グループディスカッション	自分の意見を持ち、人に伝える
19	3-2　個人面接①自己PR	自己PRできるようになる
20	長所・短所に関する質問	長所と短所を人に伝える
21	大学・学業（専門・ゼミ・卒論）に関する質問	学業に関する質問に答えられる
22	学業以外に関する質問	学業以外に関する質問に答えられる
23	将来に関する質問	将来について答えられる
24	技術・能力に関する質問	技術・能力についてアピールできる
25	外国人に向けての質問	自分の価値観を伝えられる
26	個人の資質に関する質問	資質に関して答えられる
27	1分間自己PR	自己PRができるようになる
28	3-3 個人面接②志望動機	志望動機について書けるようになる
29	志望動機に関する質問	志望動機を伝えられるようになる
30	業界・企業に関する質問	業界・企業への質問ができる
31	3-4　個人面接③通し練習	自信を持ってできるようになる
32	My Page	自分の言葉で伝えることができる
33	この課の表現・言葉　フレーズ集	面接の表現やフレーズを覚える
34	テスト	

国際外語・観光・エアライン専門学校

学　科　名	日本語通訳科(2年制)	必須・選択	必須
学　　年	2年	担当教員	今井　真由美
科　目　名	PC実習Ⅱ	時間数	68単位時間
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業
使用テキスト名	Microsoft　Word/Excel　2019 クイックマスター		
補助教材	Word /Excel文書処理技能認定試験　問題集 パワーポイント		

科目概要と科目到達目標

Word処理技能検定2級取得

Excel表計算処理技能認定試験2級　取得

授業の進め方・学習方法・課題

2級に必要な時間内でのタイピング、罫線の引き方、文字設定の仕方、印刷のかけ方

など基本的な作業を理解し、ビジネスレターやポスターなどを効率的に製作する方法を学ぶ

対面授業と遠隔授業の併用実施

評価方法・成績評価基準

①授業への積極的参加40%　②授業態度20%　③提出物20%　④検定取得20%

【成績評価基準】

A＝秀（100－90点）　到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた

B＝優（89－80点）　達成目標を十分に達成している

C＝良（79－70点）　到達目標を達成している

D＝可（69－60点）　到達目標を最低限達成している

E=不可（59点以下）　到達目標に達成していない

実務経験教員の経歴

週数	学習内容	学習のねらい
1	Chapter1 Wordの基本ー（Wordの起動・画面構成・操作・ヘルプの使い方）	基本操作の理解
2	Chapter1練習問題・テスト	文字入力について
3	Chapter2 文字入力と基本操作ー（新規文書の作成・日本語入力システム）	文字入力について
4	文字入力と基本操作ー（文字の入力と変換・単語の登録）	文字入力について
5	文字入力と基本操作ー（文書の保存・文字の選択）	文字入力について
6	文字入力と基本操作ー（文字列の編集・コピー・移動）	文字入力について
7	Chapter2練習問題・テスト	文字入力について
8	Chapter3 文書の編集ー（学習する内容・ページ書式設定）	文章の編集について
9	文書の編集ー（文字の書式設定・文字幅と間隔の設定）	文章の編集について
10	文書の編集ー（文字の配置・字下げと行間の設定）	文章の編集について
11	文書の編集ー（禁則処理・罫線と網掛け）	文章の編集について
12	Chapter3練習問題・テスト	文章の編集について
13	Chapter4 文書の印刷ー（学習する内容・改ページの挿入）	印刷について
14	文書の印刷ー（ヘッダー・フッターの設定）	印刷について
15	文書の印刷ー（印刷イメージの確認方法・印刷の実行）	印刷について
16	Chapter4練習問題・テスト	印刷について
17	Chapter5 文書の作成ー（学習する内容・入力オートフォーマット／あいさつ文）	文章フォーマットについて
18	文書の作成ー（学習する内容・入力オートフォーマット／段落番号・設定）	文章フォーマットについて
19	文書の作成ー（箇条書きの設定・タブ）	文章フォーマットについて
20	TOEIC公開テスト対策	文章フォーマットについて
21	文書の作成ー（ビジネス文書の作成例）①	文章フォーマットについて
22	文書の作成ー（ビジネス文書の作成例）②	文章フォーマットについて
23	Chapter5練習問題・テスト	文章フォーマットについて
24	Chapter6 表を使った文書の作成ー（学習する内容・表の作成）	表の作成について
25	表を使った文書の作成ー（表の選択方法・表の編集）	表の作成について
26	表を使った文書の作成ー（表の装飾・文字列から表を作成する）	表の作成について
27	Chapter6練習問題・テスト	表の作成について
28	Chapter7 図形や画像を使った文書の作成ー（学習する内容・図形の作成）①	図形や画像作成について
29	図形や画像を使った文書の作成ー（図形の作成）②	図形や画像作成について
30	形や画像を使った文書の作成ー（図形の編集・挿入）①	図形や画像作成について
31	形や画像を使った文書の作成ー（図形の編集・挿入）②	図形や画像作成について
32	形や画像を使った文書の作成ー（横書きテキスト　ボックスの挿入・ワードアートの挿入）	図形や画像作成について
33	Chapter7練習問題・テスト	図形や画像作成について
34	綜合学習問題・テスト	

国際外語・観光・エアライン専門学校

学　科　名	日本語通訳科	必須・選択	必須
学　　年	2年	担当教員	阿部塊地/北村祐美/矢後達夫
科　目　名	国際理解Ⅱ	時間数	68単位時間
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業
使用テキスト名	SDGs見るだけノート		
補助教材	SDGs探求ワークブック		

科目概要と科目到達目標

SDGsの「未来を変える目標」を理解し、実現するためにはどのような行動をすべきか考える。
ゴール11「住み続けられるまちづくりを」を全校の共通課題テーマに設定し、
「社会」「経済」「環境」の3要素を調和させた問題解決策を提案する。
また、日本だけではなく世界各地の取り組みも取り上げ、日本と比較しながら
世界の未来について自分が起こせるアクションを考え、行動していく。

授業の進め方・学習方法・課題

前期では、新潟県のゴール11「住みやすいまちづくり」について、持続可能にするためには
どのような工夫や行動が必要かグループで議論する。問題解決のための企業連携を模索する。
後期では、前期で出てきた活動案を企業・団体と共に実行に移し、振り返りを行う
PDCAサイクルを年間を通して意識し、グループワークを行う。

評価方法・成績評価基準

①発表内容40%　②授業への積極的参加(出席率)30%　③提出物20%　④学習意欲10%

【成績評価基準】
A＝秀（100－90点）　到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた
B＝優（89－80点）　達成目標を十分に達成している
C＝良（79－70点）　到達目標を達成している
D＝可（69－60点）　到達目標を最低限達成している
E=不可（59点以下）　到達目標に達成していない

実務経験教員の経歴

週数	学習内容	学習のねらい
1	オリエンテーション	授業の到達目標について理解する
2	地域にあるSDGs問題①	自分の身の回りにあるSDGsの問題を考える
3	地域にあるSDGs問題②	積極的に取り組んでいる地域企業やグループを調査
4	地域にあるSDGs問題③	参加可能なイベントを調査
5	役割分担	役割分担を行い効率的な活動につなげる
6	地域の問題を解決するための行動とは①	どう行動すべきかを学び、どう実践すべきかを考える
7	地域の問題を解決するための行動とは②	どう行動すべきかを学び、どう実践すべきかを考える
8	地域の問題を解決するための行動とは③	どう行動すべきかを学び、どう実践すべきかを考える
9	イベント企画案や広報案の提示①	企業や自治体への働き掛け
10	イベント企画案や広報案の提示②	企業や自治体への働き掛け
11	活動①	1回目　SDGs問題解決のための活動
12	活動②	1回目　SDGs問題解決のための活動
13	活動③	1回目　SDGs問題解決のための活動
14	活動の振り返り①	活動の問題提起　振り返り
15	活動の振り返り②次回への提案	改善点の提起
16	活動④	2回目　SDGs問題解決のための活動
17	活動⑤	2回目　SDGs問題解決のための活動
18	活動⑥	2回目　SDGs問題解決のための活動
19	活動の振り返り③	活動の問題提起　振り返り
20	活動の振り返り④次回への提案	改善点の提起
21	活動⑦	3回目　SDGs問題解決のための活動
22	活動⑧	3回目　SDGs問題解決のための活動
23	活動⑨	3回目　SDGs問題解決のための活動
24	活動の振り返り⑤	活動の問題提起　振り返り
25	活動の振り返り⑥	改善点の提起
26	活動内容の報告、発表準備①	フィードバックからヒントをもらい更に発表内容を練っていく
27	活動内容の報告、発表準備②	フィードバックからヒントをもらい更に発表内容を練っていく
28	活動内容の報告、発表準備③	フィードバックからヒントをもらい更に発表内容を練っていく
29	活動内容の報告、発表準備④	フィードバックからヒントをもらい更に発表内容を練っていく
30	発表①	一年の活動報告
31	発表振り返り	
32	来年度への提言①	来年度の企画立案
33	来年度への提言②	来年度の企画立案
34	来年度への提言③	来年度の企画立案

国際外語・観光・エアライン専門学校

学　科　名	日本語通訳科(2年制)	必須・選択	必須
学　　年	2年	担当教員	矢後
科　目　名	就職実務Ⅱ	時間数	34単位時間
開講期間	通年	授業形態	対面授業
使用テキスト名	勝つための就職ガイドSUCCESS 最新最強の一般常識　最新最強のSPI		
補助教材	パワーポイント		

科目概要と科目到達目標

科目概要：就職活動に必要な自己分析、書類作成、面接指導を行う

科目到達目標：就職試験に向けて、履歴書の内容を自分の言葉で自分らしく伝えられ、

希望先企業への内定が目標。

授業の進め方・学習方法・課題

就職試験の為の一般常識問題、SPI対策を中心に、模擬面接、グループディスカッションを行い、

面接試験に備える。

対面授業と遠隔授業の併用実施

評価方法・成績評価基準

①一般常識テスト30%②書類作成の理解度10%③出席率50%④面接対策10%

【成績評価基準】

A＝秀（100－90点）　到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた

B＝優（89－80点）　達成目標を十分に達成している

C＝良（79－79点）　到達目標を達成している

D＝可（69－60点）　到達目標を最低限達成している

E=不可（59点以下）　到達目標に達成していない

実務経験教員の経歴

週数	学習内容	学習のねらい
1	SUCCESS P59～62企業訪問について①質問事項の整理②選考への心構え	就職活動の心構え
2	SUCCESS P63 企業訪問のお礼状について	お礼状の書き方
3	最新最強の一般常識　総合問題	一般常識問題対策
4	個人面接練習　実践	面接時のマナーの理解
5	SUCCESS P66 就職試験のマナー	面接時のマナーの理解
6	SUCCESS P67 控室でのマナー	面接時のマナーの理解
7	SUCCESS P68～69 椅子の座り方、お辞儀の仕方　実践練習	立ち居振舞について
8	最新最強の一般常識　総合問題	一般常識問題対策
9	最新最強の一般常識　総合問題	一般常識問題対策
10	SUCCESS P70 面接試験対策　①面接試験の形式とは	面接対策
11	個人面接　①受験者1に対して面接官1人②受験者1に対して面接官多数	面接対策
12	個人面接練習　実践	面接時のマナーの理解
13	個人面接練習　実践	面接時のマナーの理解
14	個人面接練習　実践	面接時のマナーの理解
15	SUCCESS P71 面接試験対策　①集団面接について	集団面接で大切なこと
16	SUCCESS P71 面接試験対策　①グループディスカッションについて	グループディスカッション
17	集団面接練習　実践	面接練習のコツ
18	集団面接練習　実践	面接練習のコツ
19	グループディスカッション　実践	模擬グループディスカッション
20	グループディスカッション　実践	模擬グループディスカッション
21	グループディスカッション　実践	模擬グループディスカッション
22	SUCCESS P79圧迫面接の対処法	圧迫面接時の対処法とは
23	スピーチの訓練	人前での1分間のスピーチのポイント
24	スピーチの実践演習	実践1分間のスピーチのポイント
25	適性検査について	業界によって違う検査の特徴
26	適性検査の種類と内容	業界によって違う検査の特徴
27	受験後の報告	入社承諾書、お礼状の書き方
28	最新最強の一般常識　非言語能力問題	SPI対策問題
29	最新最強の一般常識　非言語能力問題	SPI対策問題
30	最新最強の一般常識　非言語能力問題	SPI対策問題
31	最新最強の一般常識　言語能力問題	SPI対策問題
32	最新最強の一般常識　言語能力問題	SPI対策問題
33	最新最強の一般常識　言語能力問題	SPI対策問題
34	最新最強の一般常識　言語能力問題	SPI対策問題

国際外語・観光・エアライン専門学校

学　科　名	日本語通訳科(2年制)	必須・選択	必須
学　　年	2年	担当教員	北村
科　目　名	ビジネスマナーⅡ	時間数	34単位時間
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業
使用テキスト名	実践ビジネスマナー		
補助教材	コミュニケーション検定公式ガイドブック＆問題集 パワーポイント　スライド		

科目概要と科目到達目標

社会人としてふさわしいビジネスマナーを身につける

社会人としてふさわしい心構えを身につける

コミュニケーション検定初級合格

授業の進め方・学習方法・課題

教科書を読み合わせて、説明する。

お辞儀の仕方や来客応対などはビデオで撮影し、振り返りをする。

ロールプレイを行い、実践していく。

対面授業と遠隔授業の併用実施

評価方法・成績評価基準

①検定・定期試験 50%　②授業への積極的参加(出席率)20%　③提出物　20%　④学習意欲　10%

【成績評価基準】

A＝秀（100－90点）　到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた

B＝優（89－80点）　達成目標を十分に達成している

C＝良（79－70点）　到達目標を達成している

D＝可（69－60点）　到達目標を最低限達成している

E=不可（59点以下）　到達目標に達成していない

実務経験教員の経歴

週数	学習内容	学習のねらい
1	ガイダンス～コミュニケーションの必要性～	コミュニケーションの必要性を知る
2	Part1　コミュニケーション・セオリー（理論）　Chapter1	コミュニケーションの理論を学ぶ
3	Chapter2 聞く力　目的に対して聞く　傾聴	傾聴を知り、身につける
4	Chapter3 話す力　目的を意識する　話を組み立てる	目的を意識した話し方を身につける
5	Chapter3 話す力　ことばを選び抜く　表現を伝達する	ことばの使い方を意識して話す
6	Part2　コミュニケーション・プラクティス(実践)Chapter1	実践を通してコミュニケーションスキルを身につける
7	Chapter1 来客応対　電話応対　アポイントメント・訪問・挨拶	社外とのコミュニケーションスキルを習得する
8	Chapter1 情報共有の重要性　チーム・コミュニケーション	社内でのコミュニケーションスキルを習得する
9	Chapter2 接客・営業　クレーム対応	クレーム対応能力を高める
10	Chapter2 会議・取材・ヒアリング　面接	会議や面接での対応を学ぶ
11	SNS・Web面接	時代に即したコミュニケーションのマナーを覚える
12	問題演習①	知識定着の確認
13	問題演習②	知識定着の確認
14	問題演習③	知識定着の確認
15	社会人として求められる資質、職場の基本的なマナー	仕事に取り組む心構えについて理解する
16	あいさつの基本、社会人としてふさわしい身だしなみ	社会人としての心構えについて理解する
17	前期末テスト	
18	指示の受け方、報告の仕方	指示の受け方、報告の仕方について理解する
19	職場の人間関係	職場の人間関係について理解する
20	立つ姿勢、お辞儀の仕方　椅子の立ち座り　歩き方　表情	第一印象をよくする
21	話の仕方、話の聞き方　尊敬語、謙譲語　丁寧語	正しい言葉遣いを身につける
22	間違えやすい敬語　敬語の練習問題	正しい言葉遣いを身につける
23	接遇の意義と重要性　来客応対の流れ	適切な来客応対を身につける
24	受付応対の基本用語	適切な来客応対を身につける
25	名刺の取り扱い方（ロールプレイ）	適切な名刺の取り扱い方を身につける
26	方向の示し方　廊下・エレベーター・応接室の案内	適切な案内の仕方を身につける
27	案内のまとめ（ロールプレイ）	適切な案内の仕方を身につける
28	お茶の出し方（ロールプレイ）	お茶の出し方を身につける
29	見送りの仕方（ロールプレイ）	適切な見送りの仕方を身につける
30	電話応対の注意点	適切な電話応対の仕方を身につける
31	電話の受け方の基本	適切な電話応対の仕方を身につける
32	電話応対の基本用語	適切な電話応対の仕方を身につける
33	電話応対（ロールプレイ）	適切な電話応対の仕方を身につける
34	後期末テスト	

国際外語・観光・エアライン専門学校

学　科　名	日本語通訳科	必須・選択	選択必須
学　　年	2年	担当教員	中林幸恵
科　目　名	手話入門	時間数	17単位時間
開講期間	後期	授業形態	対面・オンライン授業
使用テキスト名	ゼロからわかる手話入門		
補助教材	POWERPOINT SLIDE		

科目概要と科目到達目標

手話検定試験6級程度の手話表現ができるための授業展開

⇒基本的な手話表現力ができる　あいさつ、自己紹介、趣味について相手に尋ねたり答えたりすることができる。

⇒更に、お店や窓口で簡単な接客の会話や日付や時刻、金額など数字の入った表現ができる。

授業の進め方・学習方法・課題

手話検定6級程度の手話の習得に向けて、ロールプレイも実施。手話も言語のひとつということから

楽しく手話を学んでいく。

〇対面授業と遠隔授業の併用実施

評価方法・成績評価基準

①定期試験50%　②授業への積極的参加20%　③提出物20%　④学習意欲10%

【成績評価基準】

A＝秀（100－90点）　到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた

B＝優（89－80点）　達成目標を十分に達成している

C＝良（79－70点）　到達目標を達成している

D＝可（69－60点）　到達目標を最低限達成している

E=不可（59点以下）　到達目標に達成していない

実務経験教員の経歴

週数	学習内容	学習のねらい
1	オリエンテーション	手話の基礎知識　（目指すもの・評価・検定）自己紹介
2	自己紹介①	名前　あいさつ　指文字
3	自己紹介②	誕生日　星座　数　年齢　指文字
4	自己紹介③	年齢　月日　曜日　指文字
5	都道府県①	北海道～北陸地方
6	都道府県②	関東地方～中国地方
7	都道府県③	山陰地方～沖縄地方
8	ゲーム	都道府県　かるた
9	検定対策　6級試験　単語を学ぶ①	6級単語と使いながらロールプレイ
10	検定対策　6級試験　単語を学ぶ②	6級単語と使いながらロールプレイ
11	検定対策　6級試験　単語を学ぶ③	6級単語と使いながらロールプレイ
12	聴覚障がい者の方からの授業	手話を読み取れるか？表現できるか？
13	手話DVD「silent」	手話の読み取りができるか？
14	検定対策①	6級試験問題
15	検定対策②	6級試験問題
16	検定対策③	6級試験問題
17	手話検定試験6級	検定試験

国際外語・観光・エアライン専門学校

学　科　名	日本語通訳科	必須・選択	選択必須
学　　年	2年	担当教員	坂上啓貴
科　目　名	映画で学ぶ文化・歴史・思想	時間数	17時間
開講期間	2023年後期	授業形態	対面授業
使用テキスト名			
補助教材			

科目概要と科目到達目標

様々な映画を用い、現代につながる文化や歴史的背景について学び、理解する事で国際人としての教養を身に着け、コミュニケーション力向上を図る。

授業の進め方・学習方法・課題

毎回課題の映画を視聴し、その映画の文化・歴史的背景を考察する。映画を視聴してどのような感じたか、感想や考察をレポートとして提出、クラス内で発表する。

対面授業と遠隔授業の併用実施

評価方法・成績評価基準

①定期試験50%　②授業への積極的参加20%　③提出物20%　④学習意欲10%

【成績評価基準】

A＝秀（100－90点）　到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた

B＝優（89－80点）　達成目標を十分に達成している

C＝良（79－70点）　到達目標を達成している

D＝可（69－60点）　到達目標を最低限達成している

E=不可（59点以下）　到達目標に達成していない

実務経験教員の経歴

週数	学習内容	学習のねらい
1	映画と歴史の関係性を解く	映画史とその時の時代背景を理解する
2	「スタンドバイミー」前編	時代背景を学び文化的考察を行う
3	「スタンドバイミー」後編	
4	感想・考察文作成	文化・社会・歴史的考察を行い、理解を高める
5	感想・考察文クラス内発表	他者の意見を聞き、作品への理解度を深める
6	「マイ・インターン」前編	文化・人種的背景を学ぶ
7	「マイ・インターン」後編	
8	感想・考察文　作成	文化・社会・歴史的考察を行い、理解を高める
9	感想・考察文　発表	他者の意見を聞き、作品への理解度を深める
10	「フォレスト・ガンプ」前編	文化・人種的背景を学ぶ
11	「フォレスト・ガンプ」中編	
12	「フォレスト・ガンプ」後編	
13	感想・考察文　作成	文化・社会・歴史的考察を行い、理解を高める
14	感想・考察文　発表	他者の意見を聞き、作品への理解度を深める
15	映画・ドラマの相違と文化	映画とドラマでの違いを見つけ、考察する
16	映画監督・俳優・女優から学ぶ人生	映画監督や演者の人生からメッセージを読み解く
17	映画史レポート提出と発表	今まで学習して気づいたことや意見を記述し発表する
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		
31		
32		
33		
34		

国際外語・観光・エアライン専門学校

学　科　名	日本語通訳科	必須・選択	選択必須
学　　年	2年	担当教員	阿部塊地
科　目　名	現代文学研究	時間数	17単位時間
開講期間	後期	授業形態	対面・オンライン授業
使用テキスト名	赤と青のエスキース　PHP出版社		
補助教材	パワーポイント　スライド		

科目概要と科目到達目標

2022年本屋大賞2位作品を読み解く。
先を読む力、文章を読み解く力、人の意見を聞く力、自分の考えをまとめ発表する力を養い、就職後に
活かせるよう、能動的な姿勢を身につける
一冊の本を元に、物事を深く考え、自分の言葉で人に説明する力を養う。

授業の進め方・学習方法・課題

授業の3日前までに、決められた章（部分）を読み、解釈を200字程度のレポートで提出する。
授業時はそのレポートを元に発表、話し合いをして進めていく。
定期試験はPPTを作成し、プレゼンテーション形式で発表を行う。

評価方法・成績評価基準

①定期試験 30% ②授業への積極的参加(出席率)30% ③提出物 20% ④学習意欲 20%

【成績評価基準】
A＝秀（100－90点）　到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた
B＝優（89－80点）　達成目標を十分に達成している
C＝良（79－79点）　到達目標を達成している
D＝可（69－60点）　到達目標を最低限達成している
E=不可（59点以下）　到達目標に達成していない

実務経験教員の経歴

週数	学習内容	学習のねらい
1	プロローグ	文学作品の読み方を知る
2	第1章①　レポート提出	文章を読み解く力を身につける
3	第1章②　レポート提出	人の意見を聞く力を身につける
4	発表①	自分の考えをまとめて発表する力を養う
5	第2章①　レポート提出	文章を読み解く力を身につける
6	第2章②　レポート提出	人の意見を聞く力を身につける
7	発表②	自分の考えをまとめて発表する力を養う
8	第3章①　レポート提出	文章を読み解く力を身につける
9	第3章②　レポート提出	人の意見を聞く力を身につける
10	発表③	自分の考えをまとめて発表する力を養う
11	第4章①　レポート提出	文章を読み解く力を身につける
12	第4章②　レポート提出	人の意見を聞く力を身につける
13	発表④	自分の考えをまとめて発表する力を養う
14	エピローグ	文学作品を読み解く力を身につける
15	定期試験　発表⑤	自分の言葉で人に説明する力を養う
16	定期試験　発表⑥	自分の言葉で人に説明する力を養う
17	まとめ	
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		
31		
32		
33		
34		